

安全に  
使うための

ぼう ふう ふう しょう さん

# 防風通聖散の確認票

この漢方薬を服用する人についての質問です。

以前に防風通聖散を服用して、気持ちが悪くなったりアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ等)を起こしたりしたことがありますか？

いいえ

はい

服用できません

- 今の症状、またはその他の病気で医師の治療を受けていますか？
- 日常的に服用している薬や健康食品、サプリメントがありますか？
- 妊娠中、または妊娠している可能性がありますか？
- 現在、授乳中ですか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

薬剤師または登録販売者に相談してください

- 以前に麻黄を含む漢方薬\*\*を服用して、気持ちが悪くなったり、動悸がしたり、尿が出にくくなったりしたことがありますか？
- 以前に大黃を含む漢方薬\*\*を服用して、腹痛や下痢を起こしたことがありますか？
- 以前に漢方薬を服用して、むくみを感じたことがありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

次のような症状がありますか？

- 高血圧や肥満に伴う動悸、肩こり、  
のぼせ、むくみ、便秘
- 副鼻腔炎(ちくのう症)
- 湿疹、皮膚炎、ふきでもの、にきび
- 肥満症

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

服用はおすすめできません\*

- 下痢をしやすいですか？
- 血圧はひどく高いですか？
- 心臓や腎臓に不具合はありますか？
- (男性の方)尿の出に不具合はありますか？

すべて「いいえ」

1つ以上「はい」

- 便秘がちですか？
- 腹部に脂肪が多いですか？

1つ以上「はい」

すべて「いいえ」

平素の体力は充実していますか？または虚弱ですか？

虚弱

充実

わからない



服用できます

この漢方薬はあなたの体質・症状に合わないかもしれません、あなたの意思により服用可能です

\* 最終的な判断は、薬剤師または登録販売者に相談して決めてください

\*\* 該当する商品がわからない場合は、薬剤師または登録販売者にお尋ねください

## 効能・効果

体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの次の諸症：高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・のぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症（副鼻腔炎）、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、肥満症

## 日本漢方生薬製剤協会による主な商品例

アンラビリゴールドZ5T	阪本漢法製薬	テイシ防風通聖散	大正製薬
意発（エキス顆粒）	建林松鶴堂	ナイシトール	小林製薬
ウチダの攻肥聖健	ウチダ和漢薬	防風通聖散エキス〔細粒〕57	松浦薬業
エバユーススリムF	第一三共ヘルスケア	防風通聖散料Aエキス細粒「分包」三和生薬	三和生薬
オオクサ防風通聖散エキス錠	大草薬品	防風通聖散料エキス細粒〔勝昌〕	東洋薬行
ココスリム	佐藤製薬	防風通聖散料エキス錠「東亜」	北日本製薬
ココアポEX錠	クラシエ薬品	防風通聖散料「タキザワ」	タキザワ漢方廠
サンスラット	大峰堂薬品工業	ポーツーンN「コタロー」	小太郎漢方製薬
JPS防風通聖散料エキス錠N	ジェーピーエス製薬	ホノミサンイン錠	劑盛堂薬品
錠剤 防風通聖散	一元製薬	本草防風通聖散エキス錠-H	本草製薬
新・ロート防風通聖散錠満量	ロート製薬	モリ カッコミン	大杉製薬
ツムラ漢方防風通聖散エキス顆粒	ツムラ		

## 使用上の注意

### してはいけないこと

- 次の人は服用しないこと  
生後3ヵ月未満の乳児。
- 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと  
他の瀉下薬（下剤）
- 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
  - 医師の治療を受けている人。
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
  - 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
  - 胃腸が弱く下痢しやすい人。
  - 発汗傾向の著しい人。
  - 高齢者。
  - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
  - 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難
  - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

## 処方構成生薬

当帰、芍薬、川芎、山梔子、連翹、薄荷葉、生姜、荊芥、防風、麻黄、大黄、芒硝、（白朮）、桔梗、黄芩、甘草、石膏、滑石

## 防風通聖散の体力分類に対する適応度（服用される方の普通の体力でお考えください）

I 体力虚弱	II やや虚弱	III 体力中等度	IV 比較的体力がある	V 体力充実
0	0	0	1	2

2：最適、1：適応可能、0：原則としては適さない

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、はげしい腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満感等が繰り返しあらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。下痢、便秘
- 1ヵ月位（便秘に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。